

## 審 議 ( 会 議 ) 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県災害医療対策会議
開催日時	令和3年3月9日(火) 19:00~20:00
開催場所	神奈川県庁災害対策本部室(横浜市中区日本大通1)・ZOOM
(役職名) 出席者	<p>竹村 克二(神奈川県医師会副会長)[会長]</p> <p>田村 哲郎(神奈川県医師会理事(神奈川県災害医療コーディネーター))</p> <p>三角 隆彦(神奈川県病院協会常任理事)</p> <p>(代理 山崎 元靖(横浜市済生会東部病院副院長))</p> <p>村田 拓也(神奈川県歯科医師会常任理事)</p> <p>後藤 知良(神奈川県薬剤師会副会長)</p> <p>渡邊 二治子(神奈川県看護協会専務理事)</p> <p>山口 哲顕(神奈川県精神科病院協会副会長)</p> <p>浅利 靖(北里大学医学部救命救急医学教授(神奈川県災害医療コーディネーター))[副会長]</p> <p>久保田 毅(神奈川県医師会理事(神奈川県災害医療コーディネーター))</p> <p>竹内 一郎(横浜市立大学救急医学主任教授(神奈川県災害医療コーディネーター))</p> <p>海野 信也(北里大学医学部教授(神奈川県災害時小児周産期リエゾン))</p> <p>石郷岡 清(日本赤十字社神奈川県支部事業部救護課長)</p> <p>高橋 友行(陸上自衛隊東部方面混成団第3科防衛班長)</p> <p>大株 利之(第三管区海上保安本部警備救難部環境防災課長)</p> <p>(代理 長谷川 堤司(環境防災課専門官))</p> <p>上原 正(神奈川県警察本部警備部危機管理対策課長)</p> <p>(代理 濱田 紀之(対策第一係 係長))</p> <p>日迫 善行(神奈川県消防長会会長(川崎市消防局長))</p> <p>(代理 原田 俊一(川崎市消防局警防部長))</p> <p>種子田 太郎(横浜市医療局医療政策課救急・災害医療担当課長)</p> <p>田村 慎一郎(川崎市健康福祉局保健医療政策室担当課長)</p> <p>(代理 國米 佑宇(災害医療担当 担当係長))</p> <p>清水 紀行(相模原市健康福祉局保健衛生部医療政策課長)</p> <p>葛貫 博之(横須賀市健康部次長(地域医療推進課長))</p> <p>高瀬 達也(茅ヶ崎市保健所地域保健課長)</p> <p>和田 安弘(神奈川県都市衛生行政協議会代表(秦野市こども健康部参事(兼)健康づくり課長))</p> <p>矢吹 高広(神奈川県町村保健衛生連絡協議会代表(大井町子育て健康課長))</p>

次回開催予定日	未定
問い合わせ先	健康医療局医療危機対策本部室 災害医療グループ 田村 電話番号 045(210)4634 (直通) ファックス番号 045(633)3770
会議の議事	1 開会 2 会長、副会長の選任 3 議事 (1) 議題 ア 災害拠点病院の指定 イ 令和3年度年間スケジュール(案)等 (2) 報告 ア 災害時小児周産期リエゾンの委嘱 イ 原子力災害医療ネットワーク会議の設置 ウ 神奈川DMAT(ーL)の新型コロナウイルス感染症対応 4 その他 5 閉会  <あいさつ> (夏目災害医療担当課長) ○ 災害医療担当課長の夏目と申します。よろしくお願ひいたします。 本日は、年度末のお忙しい中、御参加頂きまして、ありがとうございます。  ○ この会議は、保健医療救護計画に基づき、医療救護活動全般、災害医療に関する人材育成、訓練等について検討を行うための会議として位置付けられております。  ○ 3月になりまして、東日本大震災から10年ということで、検証を交えた報道をよく目にいたします。災害発生時のことを考えますと、平時から関係の皆様と連携を密にしておくことが重要との認識を新たにしておりますが、昨年度は、この会議を開催することができず、今年度におきまして、1年間、人材育成、それから訓練等、殆ど行うことができませんでした。  ○ 新型コロナウイルス感染症への対応についてはまだ当分続くものと考えておりますが、一方で災害はいつやってくるかわかりません。そうしたことを踏まえますと、そろそろ、可能な形を模索しながらでも、必要な研修の再開ですとか、コロナを踏まえた保健医療救護計画の見直しなども始めていかなければいけないというふうに考えております。本日議題で提出させて頂くスケジュールでは、事務局のそうした

思いも反映した案を提示させて頂く予定でございます。

○ また、のちほど報告事項で詳細を御報告いたしますが、災害時小児周産期リエゾンとして、関係の先生方を委嘱させて頂きまして、その代表として、本日、北里大学医学部教授、海野先生に会議のメンバーに加わって頂きまして、御参加頂いております。

○ その他、委員の入替等がございまして、本日は議題に先立ちまして、会長・副会長の選出を頂く予定でございます。限られた時間で盛りだくさんの内容とはなりますが、皆様と忌憚のない意見交換をして、実りのある時間にしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

<議事等>

(事務局)

○ それでは、次第2、会長・副会長の選任でございます。昨年度までの会長としまして、県医師会副会長でありました武内鉄夫先生にお願いしておりましたが、今年度、当会議の委員を退かれましたので、改めて会長の選任を皆様をお願いするものでございます。

○ 事務局の案としましては、会長は、県医師会副会長であります竹村先生にお願いしたいと考えていますが、皆様いかがでしょうか。

(出席全委員の了承及び竹村委員承諾)

○ それでは、竹村先生、会長職をお引き受け頂けますでしょうか。ありがとうございます。続きまして、副会長の選出でございます。副会長につきましては、皆様、いかがでしょうか。

(竹村会長)

○ よろしいでしょうか。竹村でございますけれども、私としては、副会長は、災害医療コーディネーター会議の会長でもあられます浅利先生にお願いしたいと考えておるんですが、いかがでしょうか。

(事務局)

○ 皆様、特段御異議なければ、北里大学の浅利先生に、引き続きお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(出席全委員の了承及び浅利委員承諾)

○ 特段御異議がないようですので、では、お二人の先生がた、よろし

くお願いいたします。それでは、竹村会長、ここからは議事の進行をお願いします。

<議事等>

(竹村会長)

○ 県医師会の竹村でございます。まだ経験未熟なものですから、皆様のお助けを頂きながら、会議を進行させて頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。先ほど、夏目課長のお話にもありましたけれども、明後日で、東日本大震災から10年という節目を迎えます。まさに、災害医療の原点ともいえる事態でありまして、その後の今までの皆様の努力によって、非常に進歩したと思っておりますし、コロナに関しても、災害医療の考え方が強く対策に役に立っていると考えております。

○ この会議は、大規模災害発生時の医療救護体制について、関係機関の皆様と災害時の医療救護のあり方を討議していただく重要な会議でございます。皆様から、忌憚のないご意見を頂きながら、進めたいと思っておりますので、引き続き、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

○ それでは、これより議事に入らせていただきます。議題ア「災害拠点病院の指定」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(議題ア「災害拠点病院の指定」について説明)

(竹村会長)

○ 事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問等ございましたら、お願いいたします。

○ よろしいでしょうか。意見がなければ、御賛成ということで、お諮りしたいと思いますけれども。それでは事務局からの説明のとおり、災害拠点病院の指定を進めることとしてよいでしょうか。

(出席全委員の了承)

○ ありがとうございます。賛成多数を認めまして、承認することいたします。

○ それでは、次の議題イ「令和3年度年間スケジュール(案)等」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)  
(議題イ「令和3年度年間スケジュール(案)等」について説明)

(竹村会長)

- ありがとうございます。コロナ禍でこれからどういうふうに行くかということはまだ未確定なところがありますけれども、ただいまの事務局からの説明に関して、ご質問やご意見はございますでしょうか。
- なければ、ただいま事務局からもありましたけれども、今後色々な事情で中止、延期等色々なことがありうると思えますけれども、事務局に一任するという含めて、この案でよろしいかどうか、何か御意見はないでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、事務局の説明のとおり、来年度事業を実施するというところで、よろしいでしょうか。

(出席全委員の了承)

- ありがとうございます。それでは、異議がないようですので、承認することといたします。

(竹村会長)

- それでは、次に、次第3に移ります。「ア 災害時小児周産期リエゾンの委嘱」「イ 原子力災害医療ネットワーク会議の設置」「ウ 神奈川DMAT(—L)の新型コロナウイルス感染症対応」について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

(報告「ア 災害時小児周産期リエゾンの委嘱」「イ 原子力災害医療ネットワーク会議の設置」「ウ 神奈川DMAT(—L)の新型コロナウイルス感染症対応」について説明)

(竹村会長)

- ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありましたが、災害時小児周産期リエゾンの関係で、海野先生、何か補足はございますでしょうか。

(海野委員)

- 御指名頂きありがとうございます。北里大学の海野でございます。災害時小児周産期リエゾン、災害医療コーディネーターをお助けするというのが役割ですけれども、一昨年、神奈川でも作って頂きまして、一昨年の内閣府訓練と一緒に参加させて頂きました。色々課題がありまして、まず、我々は一生懸命この災害医療に慣れていかなければなら

らないということがございます。本来ですと、昨年たくさん訓練に参加したかったのですが、それができなかったものから、ぜひ、来年度以降、災害医療訓練をそれぞれ御企画される場合があると思いますけれども、リエゾンをぜひ誘って頂いて参加させて頂いて、少しでも、それぞれの地域で顔の見える関係を作っていきたいと考えておりますので、この会議に参画されている先生方に、お願い申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

(竹村会長)

- ありがとうございます。ぜひその方向で行きたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。続きまして、原子力災害医療の関係で、浅利先生から、何か補足はございますでしょうか。

(浅利委員)

- 会議に参加するのが少し遅れました、浅利でございます。原子力災害医療施設として指定を受けましたので、今後、積極的に、我々が中心となりながら、県と一緒に訓練をしていこうと思っております。また、新しい施設が出来上がっておりますので、見てみたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひお越しいただければ、コロナ終わってからかと思いますがいつでもご案内いたしますので、よろしく願いいたします。以上です。

(竹村会長)

- ありがとうございます。これからも、どうぞよろしく願いいたします。それでは、全体的に、ただいまの問題につきまして、委員の方から、ご意見やご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。
- さきほど阿南先生に伺いましたけれども、いわゆる DMAT、JMAT も含めて、この災害医療というものはコロナ対応に大きな力を発揮したと思っております。今後ともまた、さらに今までのもので足りなかったものを補足しながら、協議を続けて行って欲しいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。
- よろしいでしょうか。ないようでしたら、報告事項につきましては、これで終了させていただきます。
- 本日予定していた議題は以上ですが、その他、何かありますでしょうか。なければ事務局のほうから何かございますか。

(夏目災害医療担当課長)

	<p>○ 特にございません。</p> <p>(竹村会長)</p> <p>○ それではこれで、本日の議題は全て終わりましたので、進行を事務局にお返しします。</p> <p>(事務局)</p> <p>○ それでは、これもちまして会議を終了させていただきます。本日は、皆様、お忙しい中御参加下さりありがとうございました。誠に御疲れ様でございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>資料 1 災害時拠点病院の指定</p> <p>資料 2 - 1 令和 3 年度 年間スケジュール (案)</p> <p>資料 2 - 2 令和 2 年度 年間スケジュール (実績)</p> <p>資料 2 - 3 令和元年度 年間スケジュール (実績)</p> <p>資料 3 災害時小児周産期リエゾンの委嘱</p> <p>資料 4 - 1 原子力災害医療ネットワーク会議の設置</p> <p>資料 4 - 2 神奈川県保健医療救護計画の主な改正項目</p> <p>資料 4 - 3 記者発表資料</p> <p>資料 5 神奈川DMA T ( - L ) の新型コロナウイルス感染症対応</p>